

動画解説まとめ 42 / 動画・音楽制作

日常の経験を、文字と風景で見せるYouTube日記

「ひとりっこの嫁」の実践談から、日常の出来事を文字と風景の動画にする方法を整理。声や顔を出さない構成、連載番号、コメントとの関係、AIを使う案との違いをまとめます。

この動画の要点

日常の出来事や気持ちを、風景映像・文字・BGMで伝えるYouTubeチャンネルの実践者への対談です。本人の制作はスマートフォン撮影とCanvaを中心にしており、ChatGPTとVrewを使う方法は効率化のための別案として紹介されています。片付けの記録から日記へ変わった経緯、声を入れない表現、話数を付ける工夫、コメントで生まれる共感を整理します。月数万円の収入は本人の報告で、後半の大きな収入目標や出版案は未実現の構想として分けています。

01 派手な企画を作るだけでなく、実際の日常と自分の感想がコンテンツの材料になる。

02 本人の制作方法は、スマートフォンで撮る風景にCanvaで用意した文字を載せ、BGMを組み合わせるもの。

03 話数や、内容が伝わるチャンネル名が、過去の動画にも関心を持つ入口になる。

04 視聴者が求めるものが共感なら、毎回一つの解決策へまとめる必要があるとは限らない。

05 ChatGPT・Vrew版の全操作は動画では実演されておらず、既存の制作方法と混同しない。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：【AI×YouTube収益化】AIに旦那の愚痴を聞かせて稼ぐ方法【チャットGPT】【Vrew】

<https://www.youtube.com/watch?v=p04yQHqyx5s>

1. 片付けの記録から、生活を語るチャンネルへ

動画の該当箇所 4:40 / タップして開く

ゲストの花子さんは、家族の家を片付けることになり、どこまできれいにできるかを自分の記録として残し始めたと話します。当初は定点で片付けを撮る動画で、その後、日常の出来事や夫への不満などを文字で伝える形になりました。特別な事件を毎回企画したというより、生活の中にある出来事が材料になっています。

本人は、話のネタを探さなくても日常にたくさんあると説明します。思ったとおりにいかないことが起きても、「これは動画の話になる」と考えることで、日々の受け止め方が変わったとも話しています。動画で紹介する本人の経験であり、つらい経験を公開することを全員へ求める話ではありません。

撮影時には顔を映さないようにしていると説明し、夫にはYouTubeに出してよいか相談しているとも語ります。私生活を扱う事例なので、単に名前や顔を伏せれば同じ内容を使えるという理解ではなく、本人が実際の関係の中で確認しながら発信している点も含めて捉えます。

- ・ 出発点：片付けの進み具合を記録する。
- ・ 広がった内容：生活で起きたことと、それを自分がどう感じたか。
- ・ 動画の材料は本人の体験であり、AIが作った架空の経験ではありません。

2. スマートフォンの風景と文字で、声を使わずに見せる

動画の該当箇所 7:13 / タップして開く

本人が説明する背景映像の撮り方は、出かけた先などでスマートフォンを置いて撮る方法です。天気カメラのように、同じ場所をしばらく映す感覚だと話します。観光地や海なども素材になり、画面内を車が通るような小さな変化が入ることもあります。

その映像の上に文章を表示し、BGMを付けて日記の内容を伝えます。本人の声は入れておらず、AIナレーションを必須にした構成でもありません。視聴者が文字を読んで内容を追うため、音声がなければ成立しない動画とは作り方が違います。

文字はCanvaで用意していると説明しています。対談では、背景のない文字の画像を作る、という作業内容が確認されていますが、画面上で各ボタンを操作するところまでの実演はありません。本人も、より効率的な方法はあるかもしれないと話しており、長く続けてきた制作方法として紹介されています。

後半では、撮影素材を探すことで旅行先の見どころを調べたり、良い景色の場所で時間を過ごしたりする楽しさも語られます。生活の中で撮った素材を、次の動画の背景に使う流れです。

- ・ 用意するもの：自分の文章、スマートフォンで撮った風景、文字を用意するCanva、BGM。
- ・ 完成するもの：背景映像の上を文字で読み進める日記動画。
- ・ この対談だけでは、Canvaから最終動画を書き出す全操作は確認できません。

3. チャンネル名と話数で、日記を連載として伝える

動画の該当箇所 2:50 / タップして開く

動画には話数が付けられており、新しい回を見た人が前の回も見たくなるのではないかと対談で話しています。後の回から関心を持った時、最初からたどれるのは、過去の動画も並んでいるYouTubeならではの見せ方です。登壇者は、古い回も再生が伸びていると紹介します。

「ひとりっこの嫁」というチャンネル名も、短い言葉で生活の立場を想像しやすいと評価されています。どういう人の、どのような生活の話なのかを知る手掛かりになり、似た事情を持つ人が関心を持つ入口になっているという考察です。

別の実践者の例として、配偶者との死別後の生活を伝えるチャンネルも挙げられます。見せ方を参考にしても、語る人生は本人のものであり、同じ経験を作ってまねる話ではありません。形式を学ぶことと、他人の体験を借りて自分の話にすることは分けて読む必要があります。

- ・ 話数：どこまで続いている話を伝え、過去の回へ戻る手掛かりにする。
- ・ チャンネル名：語り手の立場と、扱う生活のテーマを短く伝える。
- ・ 紹介された再生回数や収益化の速さは個別事例であり、同じ見せ方だけで再現できるとは限りません。

4. コメントが、共感と次の出来事につながる

動画の該当箇所 15:26 / タップして開く

本人によると、同じような状況にいる視聴者からコメントが届き、勇気をもらうことがあるそうです。自分勝手な不満なのではないかと思っていた気持ちに共感してもらい、自分だけではなかったと感じられたと話します。

また、視聴者が自分の経験や対処方法を教えてくれることもあり、それを試した結果が次の動画の話になる場合があると説明しています。日常を出す、反応を受け取る、生活の中で試す、その後をまた伝えるというやり取りが生まれています。

終盤では、動画を必ず解決策までまとめる必要があるのかが話題になります。あべさんは解決まで含めた方がよいのではないかと考えますが、対談では、視聴者は問題の解決以上に共感を求めている可能性や、解決方法は各家庭で違うという意見も出ています。

どちらが必ず伸びるかという結論や比較データはありません。実際のチャンネルには解決策で締めない回もあり、共感を中心にした表現でも読まれているという点が確認できる話です。日記を毎回、一般的なノウハウ記事の形へ直す必要があるとは限らない、と捉えられます。

- ・ 反応の例：自分も同じだという共感、経験者からの情報や提案。
- ・ 次の材料：コメントを見て試したことと、その結果。
- ・ 本人の気持ちを、AIが勝手に「正しい解決策」で上書きしないようにする。

5. AIを使う効率化案と、本人の実績を分ける

動画の該当箇所 19:23 / タップして開く

動画の題名にはAIが出てきますが、対談で明かされる本人の実際の制作は、長く使ってきたCanva中心の方法です。既に収益化したチャンネルを見て、もっと効率化できるのではないかという話になっています。

そこで、ChatGPTとVrewで日記風コンテンツを作るマニュアルと、台本用のプロンプトを別途用意したと紹介します。これは、本人のチャンネルの特徴を参考に、制作を効率化する提案です。本人が最初からそのAIの手順で運営していたという意味ではありません。

ただし、この動画内でマニュアルの全操作やプロンプト全文は示されていません。そのため本資料では、AIに何を入力すれば必ず同じ動画ができる、といった完成手順を補ってはいません。実際の記事素材を文章として整理することと、映像にする作業を効率化する方向が示されたところまでを残しています。

- ・ 実施済み：本人のスマートフォン撮影、Canvaによる文字制作、YouTubeへの投稿。
- ・ 別案として紹介：ChatGPT・Vrewを使う日記動画制作。
- ・ 本資料のAI活用例は編集部によるもので、当時の配布プロンプトの原文ではありません。

6. 現在の小さな収益と、今後の大きな構想を混同しない

動画の該当箇所 9:00 / タップして開く

花子さんは、チャンネル開始から一か月に満たない時点で登録者が千人程度となり、収益化につながったと話しています。動画時点の収入は月三、四万円程度、以前には五、六万円程度の時期もあったという本人の説明です。入ってきたお金を片付けにかかる費用へ使ったとも述べています。

後半には大きな収入を目指したいという本人の希望が出ますが、あべさんたちは、その額を稼がせる方法を教えているわけではないと繰り返し説明します。視聴者にはまず日記を動画にするところから考え、副業として生活に役立つ収入で満足する人がいてもよいと話しています。

既存のチャンネルを生かしたKindle出版、企業案件、旅行との組み合わせなども案として挙げります。既にきた案件の話と、今後受けたい案件の希望が混ざるため、本資料では将来の構想を確定した売上に置き換えていません。まず、本人の経験と継続している発信に価値が見いだされた事例として捉えます。

- ・ 収入の報告は本人の個別事例で、経費を差し引いた利益や再現性を検証したものではありません。
- ・ 現在できている発信をどう広げるかという相談と、既に達成した結果を分ける。

実践の進め方

01 日常の出来事と気持ちを文章にする

動画の話を実践順に整理。日常の良かったこと、嫌だったこと、実際に経験して感じたことを日記の材料にします。動画では、片付けの記録から生活の話へ広がっています。

動画 4:40

02 背景に使う風景を撮る

本人は出かけた先などで、スマートフォンを置いて風景を撮っています。撮った素材を日記の文字の背景に使います。

動画 7:13

03 文字と背景・BGMを組み合わせる

本人はCanvaで文字を用意し、背景映像の上に載せ、BGMと合わせて投稿しています。声を入れることは必須にしていません。細かな編集操作は対談では実演されていません。

動画 7:13

04 連載として投稿し、反応を読む

話数を付けた投稿の例を参考に、過去の出来事もたどれるようにします。届いた経験談や提案を読み、実際に試した場合は、その後の出来事も動画の材料になります。

動画 15:26

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部による活用例。動画内の逐語プロンプトではありません】この資料を根拠に、記載外の補足は区別し、私の状況を質問してから進めることを守ってください。まず、日記にしたい実際の出来事、その時の気持ち、公開できる範囲、伝えたい相手、使える風景素材を質問してください。回答にない経験や家族の言動を創作せず、共感して読める短い文章へ整理してください。毎回無理に教訓や解決策を足さず、必要なら私に確認してください。動画にないCanvaやVrewの詳細操作は資料外の補足として分け、原版の配布プロンプトを再現したとは言わないでください。

資料について

- ・ 日本語自動字幕に基づく対談要約です。実際のチャンネル運営と、後から提案されたAIによる効率化を分けています。
- ・ 再生回数、収益化期間、収入は本人・登壇者が動画内で紹介した事例です。現行のYouTube収益化条件を示すものではありません。
- ・ 日記が支持される理由や解決策の要否は、対談中の見解です。年齢・性別による一般的な視聴行動を実証した内容ではありません。
- ・ ChatGPT・Vrew用の別配布マニュアルと逐語プロンプトは、動画の字幕には含まれていません。